

FUJITSU Desktop ESPRIMO

取扱説明書



このたびは弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書をご覧になり、本製品を使用する準備をしてください。使用上のご注意は、必ずお読みください。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

はじめに添付品を確認してください

万一、欠品などがございましたら、ご購入元にご連絡をお願いします。

なお、記載している添付品とは別に、注意書きの紙などが入っている場合があります。添付品および注意書きの紙などは大切に保管してください。

標準添付品

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> パソコン本体 | <input type="checkbox"/> 保証書 |
| <input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） | <input type="checkbox"/> USB マウス（光学式） |
| <input type="checkbox"/> ハードディスクキー（2 個） | <input type="checkbox"/> 電源ケーブル（本体用、100V 専用） |
| <input type="checkbox"/> スケジュール運転ユーティリティケーブル ^{注1} （N529/FAのみ） | |
| <input type="checkbox"/> フット×2（J529/FAのみ） | <input type="checkbox"/> 防塵フィルター（J529/FAのみ） |

（注1）「RAS 機能」をご使用の場合に使用します。

カスタムメイド添付品（選択された構成により添付されます）

- リカバリデータディスク、ドライバースディスク
- SupportDesk パック Standard24（ロングライフパソコン用）

・リカバリデータディスクを選択した場合

搭載 OS に応じたディスクが添付されます。ディスクが複数枚添付される場合があります。

Windows 10 のリカバリデータディスクには、リカバリ起動ディスクが添付されます。

Windows 7 のリカバリデータディスクには、トラブル解決ナビディスクが添付されます。

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2015 - 2017

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。

不要になった際は、回収・リサイクルにお出しいください。

マニュアルについて

● 取扱説明書（本書）

パソコンの設置、接続、セットアップまでを説明しています。

● リカバリガイド

リカバリデータやドライバーのディスクを作成する方法とリカバリ方法、OS を切り替える方法を説明しています。次の手順でご覧になれます。

- ・ Windows 10 : 「スタート」ボタン → 「FUJITSU - マニュアル」 → 「リカバリガイド」の順にクリックします。
- ・ Windows 7 : 「スタート」ボタン → 「すべてのプログラム」 → 「マニュアル」 → 「リカバリガイド」の順にクリックします。

● 製品ガイド

本製品のハードウェア、ソフトウェア全般にわたっての使い方の説明や技術情報を記載しています。

● 機能別マニュアル

カスタムメイドで選択した機能をはじめ、特定の機能について説明しています。

マニュアルは、改善のため変更することがあります。

上記のマニュアルは、インターネットで最新版を公開しています（マニュアルのほか、お使いになるうえでの注意事項を公開しています）。

<http://www.fmwworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/>

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」（→ P.4）をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・ 修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをとり、保管しておいてください。
- ・ 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造終了後 5 年です。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内のハードディスクに格納しています。

セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任は一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日頃からバックアップをとられることをお勧めします）。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、空調のある通常のオフィス環境において1日約8時間、1ヶ月で25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、臭異の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

フラッシュメモリディスク、光学ドライブ、キーボード、マウス、メインボード、電源ユニット、ファン

<長時間連続使用時の主要部品の寿命の目安(使用環境条件により変動します)>

フラッシュメモリディスク：約5年、メインボード：約5年、電源ユニット：約5年、ファン類：約5年

消耗品について

- ・防塵フィルタなどの消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

長期保守対応モデルをご購入し有償サービス「SupportDesk」を契約された場合に、本製品を5年間以上、または24時間連続でお使いいただけます。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

本製品は日本国内仕様であり、海外での保守サービスおよび技術サポートは行っておりません。

本製品には、“外国為替及び外国貿易法”に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本パソコンは電気・電子機器の特定の化学物質<鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリプロモビフェニル、ポリプロモジフェルエーテルの6物質>の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク(非含有マーク)」に対応しています。本パソコンにおける特定の化学物質(6物質)の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。

<http://www.fmworld.net/biz/fmw/jmoss/>

本製品の有線 LAN インターフェースを、直接、電気通信事業者の回線(例：インターネットサービスプロバイダーが提供している通信網サービス等)に接続するためには、電気通信事業法による技術基準適合認定の取得、または電気通信事業者の検査による許可が必要ですので、ご注意ください。

クラス1レーザ製品 IEC 60825-1:2014

クラス1レーザ製品の国際規格である(IEC 60825-1)に準拠しています。

危険ラベル/警告ラベル/注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

警告表示について



このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を

よくご理解のうえ、お読みください。






危険

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取り扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

■ 設置／準備

警告



コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。

万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながる恐れがあります。



梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



転倒防止の処置をしてください。

地震が発生した場合などに、本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。設置台や床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。



振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり落下して、けが、故障の原因になります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因になります。



矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。

火災の原因となることがあります。



本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。

ケーブルに足を引っかけて転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因になります。



添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電、火災の原因になります。



電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



電源ケーブルや AC アダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。

不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



タコ足配線をしないでください。

感電、火災の原因になります。



アース線を
接続せよ

電源プラグにアース線が付いている場合は、電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線が付いています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因になります。

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因になります。



濡れた手で電源ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因になります。

⚠️注意



本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気が多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になることがあります。



本製品やACアダプタを直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災、故障の原因になります。



本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。

電源ケーブルやACアダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。

- ・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
- ・接続されたケーブルなどを外してください。
- ・作業は足元に充分注意して行ってください。



本製品の質量が18kg以上の場合、持ち運ぶときは必ず2人以上で行ってください。

故障・けがの原因となることがあります（質量については『製品ガイド』をご覧ください）。

■ 使用時

⚠️警告



火中に投入、加熱しないでください。
発煙・発火・破裂の原因になります。



端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



落としたり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。

バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電、火災の原因になります。



本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



排気孔付近やACアダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。

排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。




風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電、火災の原因になります。




本製品の上や周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。

水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。

 使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがらないでください。


通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。

 ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。


お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。


本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

 本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。


誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。

 AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。


感電、火災の原因になります。

 AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。

カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。


 タッチパネルはガラスを使用しているため、急激な衝撃を与えたり、本製品を転倒・落下させないでください。

破損するおそれがあります。また、破損した場合は、ガラスの破片に直接触れないよう注意して清掃してください。けがををするおそれがあります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。


 電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。


- ・ショートさせない
- ・加熱したり、火の中に入れてたりする
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れてない
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けをしない

 電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。


感電、火災の原因になります。

 電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバなどの金属を近づけないでください。


感電、火災の原因になります。

 ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。


感電、火災の原因になります。

 AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけるしないでください。

ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。

 電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

 無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth®ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、ワイヤレスマウス/キーボードの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所



本製品は、レーザ光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- ・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザ光の光源部を直接見ないでください。また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザ光線が装置外にもれた場合は、レーザ光線のをぞきこまないでください。レーザ光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
レーザ光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。



レーザー式マウスは底面から、目に見えないレーザ光が出ています。

クラス1レーザ製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

⚠️ 注意



本製品の上に重いものを置かないでください。けがの原因となることがあります。



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。



光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指定外の機器を本製品のアウトレットに接続して電源を取らないでください。火災、故障の原因になります。



ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザ光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

■ メンテナンス／増設

⚠️ 警告



お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。修理や点検などが必要な場合は、弊社問合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お子様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。




カバーおよび可動部を開ける場合は、お子様の手が届かない場所で行ってください。


作業が終わるまでは大人が本製品から離れないようにしてください。お子様が手を触れると、けが、故障の原因になります。





メモリの取り付け、取り外しやお手入れのときなど、カバーをあける場合は、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いた後、しばらくたってから行ってください。


カバーをあけた状態で電源ケーブルをコンセントに挿し込んだり、電源を入れたりしないでください。やけど、感電、火災の原因になります。


 清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。
故障・火災の原因となります。

 本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。
取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。


 指定以外の電池は使用しないでください。
また、2本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。


 電源ケーブルやACアダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまったままの状態で使用すると感電、火災の原因となります。1年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。


 内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
故障、感電、火災の原因となります。


 周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電、火災の原因となります。また、本製品および周辺機器が故障する原因となります。

注意

 周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因となります。


 本製品内部の突起物、および指定された部品以外には、手を触れないでください。
けが、故障の原因となります。


 電源を切った直後は、本製品の内部が高温になっています。
メモリや拡張カードなどの内蔵オプションを取り付け／取り外す場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、十分に温度が下がるのを待ってから作業を始めてください。
やけどの原因となります。


 内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、指をはさんだり、ぶつけたりしないように注意してください。
けがの原因となります。


■ 異常時

警告

 本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルやACアダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因となります。

 タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあった場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。

 バッテリーパックや電池が液漏れし、漏れ出した液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因となります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因となります。

⚠ 注意



カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキートップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。

破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。

特にお子様が近くにいる場合はご注意ください。



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。中毒を起こすおそれがあります。液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

■ 保管／廃棄

⚠ 注意



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。

バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。火災の原因になります。



本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。本製品にはリチウム電池を使用しております。ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

使用上のご注意

本製品をお使いになるうえでは、「安全上のご注意」(→P.4)もあわせてご覧ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

故障の原因となりますので、次の点に注意してください。

- 極端に温度変化が激しい場所での使用および保管は避けてください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、30秒以上待ってから電源を入れてください。また、スリープ状態に移行した場合、スタンバイランプがオレンジ(N529/FAの場合)、または電源ランプが白色(J529/FAの場合)に点滅してから10秒以内は、マウスやキーボードを操作したり、電源ボタンを押したりしないでください。
- BIOSのパスワードを設定するときは、設定したパスワードを忘れないよう注意してください。BIOSパスワードを忘れると、パソコンが使えなくなり修理が必要となります。
- 「システムのプロパティ」ウィンドウの「詳細設定」タブで、「パフォーマンス」の「設定」の項目は、初期設定のままお使いください。
- 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。

落雷のおそれがあるときの注意

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておくことをお勧めします。また、雷が鳴り出したら、パソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、電話線(モジュラーケーブル)、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本パソコンを保護できないことがあります。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

使用・設置

使用、設置に適さない場所

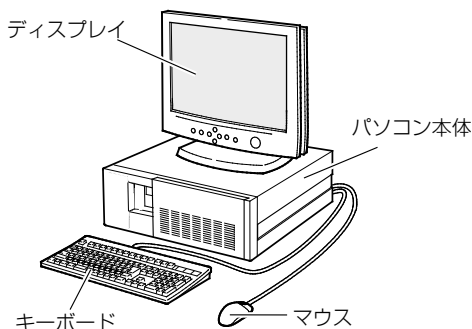
- 極端に高温または低温になる場所
- 直射日光のあたる場所
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所
- 車、飛行機、船など、輸送機器への設置
- 湿気やほこり、油煙の多い場所
CPU ファンなどの機能を低下させる可能性があります。
- 風呂場、シャワー室などの水のかかる場所
- 腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が出る場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 台所などの油を使用する場所の近く
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁界が発生する場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っかかる場所
- 次の温湿度条件の範囲を超える場所
 - ・ 動作時：温度 5～40℃ / 湿度 20～80%RH
 - ・ 非動作時：温度 -10～60℃ / 湿度 20～80%RHただし、光学ドライブをご使用になるときは、35℃以下でお使いください。
また、J529/FA に添付の防塵フィルターを取り付けた場合は、35℃以下でお使いください。
- 結露する場所
結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。パソコンを温度の低い場所から温度の高い場所、または温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、パソコン本体内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままパソコンを使用すると故障の原因となります。
パソコンを移動したときは、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

設置する

■ 設置例

□ N529/FA

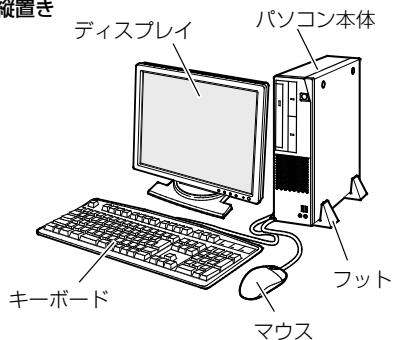
19kg 以下のディスプレイのみパソコン本体の上に載せることができます。



□ J529/FA

パソコン本体は、縦置きまたは横置きにすることができます。

● 縦置き



● 横置き

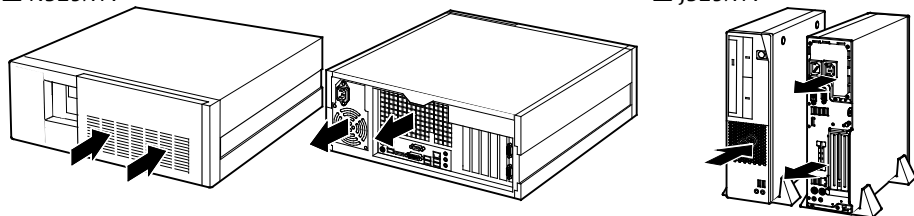
13kg 以下のディスプレイのみパソコン本体の上に載せることができます。

■ 空気の流れ

本パソコンの空気の流れは次の図のとおりです。通風孔をふさがないように注意してください。

□ N529/FA

□ J529/FA



■ 設置時の注意

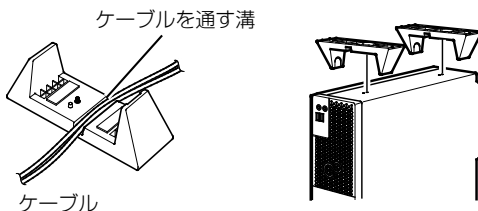
パソコン本体から排気した熱が周辺にこもらないように次の点に注意してください。

- パソコン本体と壁の間に 10 cm 以上のすき間を空けてください。
- パソコン本体前面や背面の吸気孔や排気孔をふさがないようにください。
- パソコン本体の前面は開放してください（ラック収納時は背面も開放）。

■ フットを取り付ける（J529/FA、縦置きの場合）

縦置きでお使いになる場合、必ずフットを取り付けてください。転倒して故障の原因となることがあります。

- 1 フットをパソコン本体に取り付けます。
キーボードやマウスのケーブルを、フットの溝に通してまとめることができます。
- 2 フットをパソコン本体にネジで固定します。



■ 横置きの場合（J529/FA）

横置きで使用する場合、パソコン本体を移動するときに、ゴム足をひきずらないでください。

接続

ディスプレイ／キーボード／マウスを接続する

- 1 ディスプレイのマニュアルをご覧になり、ディスプレイに添付のケーブル類をディスプレイに接続します。 □N529/FA (接続例)

- 2 ディスプレイケーブルをパソコン本体に接続します。

ケーブルのコネクタと本体背面のラベル位置を確認し、コネクタの形を互いに合わせて接続します。その後、ケーブルのコネクタのネジを締めます。

次のいずれかのコネクタに接続してください。

・ DisplayPort コネクタ (DP1)




DisplayPort コネクタに DVI コネクタのディスプレイを接続するには、別売の DP→DVI 変換ケーブルが必要です。

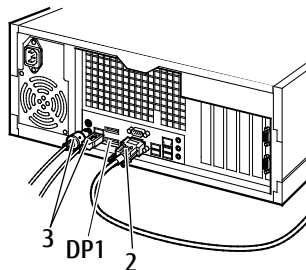
アナログディスプレイを接続する場合は、別売の DP→VGA 変換ケーブルが必要です。

・ DVI-D コネクタ

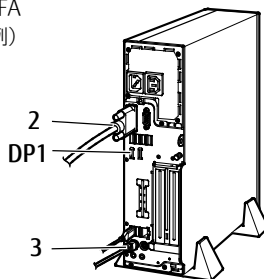
セットアップが完了するまでは、ディスプレイは 1 台のみ接続してください。

- 3 マウスとキーボードを接続します。

USB 接続のマウスおよびキーボードは USB コネクタ () に、PS/2 接続のマウスおよびキーボードは本体背面のマウスコネクタ ()、キーボードコネクタ () にそれぞれ接続します。



□J529/FA (接続例)



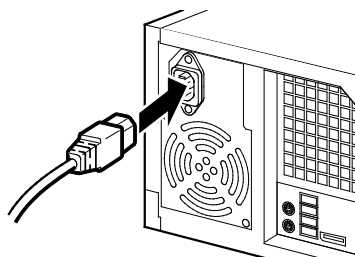
電源ケーブルを接続する

□ N529/FA

- 1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。

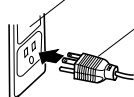
本パソコンに添付の電源ケーブルは、AC100V 専用です。AC200V でお使いになるときは、別途 200V に対応したケーブルをご用意ください。

- 2 電源ケーブルの電源プラグをコンセント (AC100V) に接続します。



接地コンセント
(平行 2 極接地極付プラグ
(125V15A) 用コンセント)

電源プラグ
(平行 2 極接地極付プラグ)

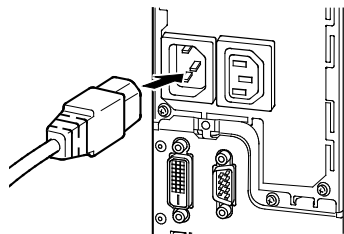


注：平行 2 極接地用口出線付変換プラグは使用しないでください。

□ J529/FA

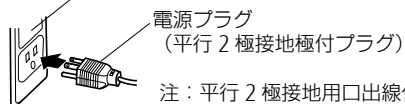
- 1 電源ケーブルのプラグをパソコン本体背面のインレットに接続します。

本パソコンに添付の電源ケーブルは、AC100V 専用です。AC200V でお使いになるときは、別途 200V に対応したケーブルをご用意ください。



- 2 電源ケーブルの電源プラグをコンセント (AC100V) に接続します。

接地コンセント
(平行 2 極接地極付プラグ
(125V15A) 用コンセント)



電源プラグ
(平行 2 極接地極付プラグ)

注：平行 2 極接地用口出線付変換プラグは使用しないでください。

セットアップ



注意事項

- Windows のセットアップが完了するまでは、次のものを接続または変更しないでください。
Windows セットアップが正常に行われなかったり、エラーメッセージが表示されたりする場合があります。
 - ・ 周辺機器
 - ・ 拡張カード
 - ・ 2 台目のディスプレイ
 - ・ BIOS の設定
 - ・ LAN ケーブル (Windows 10 のセットアップ時にインターネット接続する場合を除く)
- セットアップ中は、電源を切らないでください。
- Windows セットアップの各ウィンドウが完全に表示されないうちに、キーを押したりすると、Windows セットアップが完全に行われない場合があります。ウィンドウが完全に表示されてから操作してください。

■ セットアップで困ったときは

□ Windows 10 でセットアップが進められなくなった場合

・ N529/FA

電源スイッチを「」側に切り替えて、強制的に電源を切り、セットアップをやり直してください。電源スイッチを「」側に切り替えても電源が切れない場合は、パソコン背面の電源ケーブルのプラグをインレットからいったん外し、30 秒以上たってから接続し、セットアップをやり直してください。

・ J529/FA

電源ボタンを 4 秒以上押しして、パソコンの電源を一度切り、セットアップをやり直してください。

□ Windows 7 でセットアップが進められなくなった場合


セットアップがやり直せない場合は、次の手順でトラブル解決ナビを起動し、リカバリを行ってください。

1. 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【F12】キーを押します。
2. カーソルキーで「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
3. 「リカバリ」タブの「C ドライブのみご購入時の状態に戻す」を選択し、「実行」をクリックします。

リカバリについて、詳しくは『リカバリガイド』をご覧ください。

セットアップする

ここで説明するセットアップ手順は一例（インターネットに接続しない方法）です。画面の説明を読み、ご使用になる環境にあわせてセットアップをしてください。ネットワーク管理者がいる場合は、その指示に従ってください。

 **POINT** ▶ Windows 10 で、インターネットに接続してセットアップを行う場合セットアップの途中で、Microsoft アカウントを設定する画面が表示されます。このアカウントは Windows の使用時

のほか、次のサービスを利用するときのアカウントとなります。
・Windows ストア、クラウドサービス、一部のアプリケーション

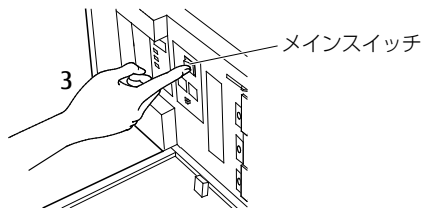
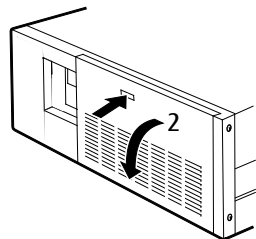
□ N529/FA

- 1 ディスプレイの電源ボタンを押します。
- 2 前面上部中央を押して、オペレーションパネルカバーを手前に開きます。
- 3 パソコン本体の電源スイッチを「|」側に切り替えます。


画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断 (POST) が始まります。

OSによっては、画面が表示されるまで、再起動したり、一時的に画面が真っ暗な状態や画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。起動時にエラーが表示された場合は、『製品ガイド』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。

自己診断 (POST) が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。



□ J529/FA

- 1 ディスプレイの電源ボタンを押します。
- 2 パソコン本体の電源ボタン「」を押します。

画面に「FUJITSU」ロゴが表示され、自己診断 (POST) が始まります。

OSによっては、画面が表示されるまで、再起動したり、一時的に画面が真っ暗な状態や画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。絶対に電源を切らずにそのままお待ちください。

起動時にエラーが表示された場合は、『製品ガイド』の「BIOS」または「トラブルシューティング」をご覧ください。

自己診断 (POST) が終わると「Windows のセットアップ」画面が表示されます。

この後は、お使いの Windows のセットアップを行ってください。

■ Windows 10 の場合

- 1 「こんにちは」画面が表示されたら、それぞれリストから選択し「次へ」をクリックします。
- 2 「法的文書をお読みください」を読み、「承諾する」をクリックします。
- 3 「簡単設定を使う」をクリックします。
- 4 「この PC のアカウントの作成」の画面で、次の項目を入力し、「次へ」をクリックします。

- ・ユーザー名：12 文字以内の半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。
- ・パスワードを入力してください：12 文字以内の半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。
- ・もう一度パスワードを入力してください：パスワードを再入力してください。
- ・パスワードのヒント：半角英数字のほか、かな、漢字も使用できます。

Windows のセットアップが完了すると、Windows 10 のデスクトップが表示されます。

POINT

▶ Windows のライセンス認証が行われていないため、「Windows のライセンス認証」と表示されることがあります。画面の指示に従って、インターネットまたは電話でライセンス認証を行ってください。

■ Windows 7 の場合

- 1 「Windows のセットアップ」画面が表示されたら、それぞれリストから選択し「次へ」をクリックします。
- 2 画面の指示に従って、ユーザー名、パスワード、パスワードのヒントを入力し、「次へ」をクリックします。

- ・ユーザー名：12 文字以内の半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。
- ・数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。
- ・パスワード：半角英数字 (a~z, A~Z, 0~9) で入力してください。大文字、小文字は区別されます。

・コンピューター名：ここでは変更せず、セットアップの終了後に変更してください。

3「ライセンス条項」をよく読み、2ヶ所の「ライセンス条項に同意します」にチェックを付けて、「次へ」をクリックします。

4「推奨設定を使用します」をクリックします。

「ワイヤレスネットワークへの接続」が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

5「必ず実行してください」ウィンドウが表示されたら、内容を確認し、「実行する」をクリックします。

6「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をクリックします。

最終設定が行われ、再起動メッセージが表示されます。

再起動メッセージが表示されるまで、キーボードやマウスを操作しないでください。

7「OK」をクリックします。

本パソコンが再起動し、パスワードの入力画面が表示されます。

8 設定したパスワードを入力し、「→」をクリックします。

Windows が起動します。

セットアップ後

■ ご使用になる前の設定

これ以降の設定には、インターネットの接続が必要になるものがあります。

インターネット上のマニュアルなどをご覧になって操作や設定を行い、本パソコンをお使いください。

Windows Update

インターネットに接続し、Windows を最新の状態で更新します。詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。

ディスクの作成 → 『リカバリガイド』

ハードディスクに格納されているデータから、リカバリに必要なディスクを作成します。できるだけ早くディスクを作成してください。カスタムメイドでリカバリデータディスクを購入されている場合は、ディスクの作成はできません。

RAS 機能、ミラーディスク → 『製品ガイド』

事前に該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

BIOS パスワード、お手入れ → 『製品ガイド』

事前に該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

■ トラブル発生時の対処

トラブルの発生時に備えて、事前に『リカバリガイド』と『製品ガイド』の該当箇所を印刷しておくことをお勧めします。

● Windows が起動しなくなった場合

診断プログラムを使用し、障害箇所を診断できます。

「トラブルシューティング」－「トラブル発生時の基本操作」－「診断プログラムを使用する」

● 起動時にエラーメッセージが表示されたり、ビープ音が鳴った場合

「トラブルシューティング」－「よくあるトラブルと解決方法」－「起動・終了時のトラブル」

「長期保守対応モデル」の保守について

「長期保守対応モデル」は保守契約を締結することにより、最長 10 年の保守サービスが受けられます。

長期間のハードウェア保守サービスについて

- 本製品は、ご購入と同時に保守サポートサービス「SupportDesk」（SupportDesk バック Standard24（ロングライフパソコン用）または SupportDesk Standard（ロングライフパソコン））にご契約いただいた場合、長期保守対応モデルで最長 10 年間保守対応いたします。ご購入いただけない場合は、標準保証となります。

また、「SupportDesk」を途中で解約された場合、保守対応期間は 5 年（標準保証期間）となりますが、解約する時点ですでに 5 年を経過している場合は、その時点で保守対応は終了となります。

- 本製品における「SupportDesk」では、フラッシュメモリーディスク、メインボード、電源ユニットなどの

有寿命部品を定期交換します。ただし、長期保守対応期間中に同一部品の提供が不可能となった場合は、上位互換部品にて保守対応いたします。

本製品の製品保証や「SupportDesk」のサービス内容・価格について、詳しくはご購入元までお問い合わせいただくか、次の富士通ホームページをご覧ください。

「製品保証」： <http://www.fmworld.net/biz/longlife/notes/partslife.html>

「製品サポート」： <http://jp.fujitsu.com/solutions/support/sdk/products/pc>

対象機器

□パソコン本体

専用オプション：RASカード（詳しくは、富士通製品情報ページ内にある「システム構成図」
(<http://www.fmworld.net/biz/fmv/product/syskou/>) をご覧ください。)

オプションは、「SupportDesk」の契約時にパソコン本体に取り付けられている必要があります。契約後に取り付けた場合、長期保守の対象外となります。

また、上記以外の内蔵オプションやディスプレイなどの周辺機器は、長期保守対象外です。

注意事項

- カスタムメイドで「SupportDesk パック Standard24（ロングライフパソコン用）」を選択した場合、他の保守サポートサービスを新たに契約する必要はありません。
また、添付の「お客様登録カード」に必要事項を記入し、必ず返信してください。返信いただけない場合、サービスをご利用できませんのでご注意ください。
- 訪問修理は修理受付日の当日に対応しますが、受付時間、交通事情、天候、対象商品の設置地域などにより、翌営業日以降での対応となる場合もあります。

お問い合わせ先

インターネット上のマニュアルをご覧になっても不明な点がございましたらお問い合わせください。

お問い合わせの前に、パソコン本体のラベルまたは保証書に記載されている、型名（MODEL）、製造番号（SERIAL）、16桁の数字（0000-0000-0000-0000）または（0000000-00-0000-000）をご確認ください。

技術的な ご質問・ご相談	富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口 通話料無料：0120-950-222 受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日およびシステムメンテナンス日を除く） ※受付後に、専門技術員からのコールバックとなります。
ハードウェアの 故障・修理	富士通ハードウェア修理相談センター 通話料無料：0120-422-297 受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）
富士通サプライ品の ご購入	富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター 通話料無料：0120-505-279 受付時間：9:00～17:30（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く） URL： http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/

ESPRIMO N529/FA、J529/FA

取扱説明書

B5FK-6721-03-00

発行日：2017年2月

発行責任：富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。

●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。

●無断転載を禁じます。

●落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。